

式辞

あたたかく柔らかな光に包まれる季節になりました。春の訪れを感じる今日の佳き日に、PTA会長様のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに、愛知県立犬山南高等学校第四十四回入学式を挙行できますこと、教職員一同大きな喜びとすところでございます。

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を、心から歓迎します。

皆さんは、今日、「高校生になる」ためのスタートラインに立ちました。

どういう意味か分かりますか。

高校に入学しさえすれば、名実ともに、誰がどう見ても高校生と言われる存在になれる訳ではないということです。つまり、これから皆さんの努力によって、どれだけ自分自身の考えを深めていけるか、意識を変化させ、それに伴い行動を変えていくことができるか、今日ここから「なりたい自分になっていく歩み」が始まるということです。

そのために必要となるであろう、二つのこととお話します。

一つ目は、「自分に問う」ということです。

例えば、授業中や授業後に、「自分は本当に分かっているのか」、「何が分かり、何が分からなかったのか」と自分自身に問う。分からないことがあるのなら、「それをどうするのか」と自分自身に問う。さらに、「どんな自分になりたいのか」問うてみる。こうすることで、現在の自分の状況を冷静に理解し、自分自身で課題を克服する歩みを進めていくことができるようになります。

二つ目は、「他者と関わる」ということです。

学校は、規模は小さいですが、社会です。私たち人間は、社会を作り、その中で生きていく生き物です。人と人が意識をし、関わり合って生きていく存在です。そこで大切な役割を果たすのが、言葉です。以心伝心ということも、当然あり得ます。しかし、それは、お互いが時間をかけて、言葉を用いてコミュニケーションをとってきた結果として成り立つものです。まず、自分の思いや考えを、言葉を用いて自分の中で整理する。その上で、他者にきちんと伝えたり、他者の考えを受け止めたりする習慣をつけてください。

こうして、自分に問い、他者と関わることをとおして、自分から積極的に「高校生になる」ための一歩を踏み出してください。

保護者の皆様に、一言ごあいさつ申し上げます。お子様のご入学、心からお祝い申し上げます。私ども教職員は、お子様が充実した学校生活をとおして、心身ともに健やかに成長し、自立してよりよい社会を作っていく力を身に付けられるよう、教育活動に取り組んでまいります。しかし、この活動を実践するためには、保護者の皆様による、お力添えが必要です。なにとぞ、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、新入生の皆さんが、本校での生活をとおして、自分自身や他者と積極的に関わり続け、「なりたい自分」に向かって成長していくことを心から期待して、式辞とします。

令和三年四月六日

愛知県立犬山南高等学校長

森 也寸司